

NTPマリーナりんくうで活躍する高性能且つ 小回りの効く大型シップキャリア登場!!



60t NH-シップキャリア			
型式	NH-SC-E60	エンジン	49kW
持ち上げストローク	300mm	動輪	4 (前輪)
運転速度	33.3m/min	最大蛇取角	35°
登坂能力	3%	ホイール数	12個



取材協力:NTPマリーナりんくう 愛知県常滑市りんくう町3丁目6番地の1 TEL (0569) 35-7200 URL www.ntp.co.jp/marina/



非常停止ボタンは前後に計4箇所設置し、ボタンを押すだけで停止出来る。 シップキャリアを動かすための無線送信機はハンディータイプが標準仕様。 オプションでジョイスティックタイプもある。 安全に昇降出来る様、前後6箇所の走行ユニットに昇降装置を取付けている。 高さを微調整出来ることにより、安全に盤木やスタンドにセット出来る。



シップキャリアの位置を微調整して、ホイストからボートを降ろす際に中心で受けれるようにする。



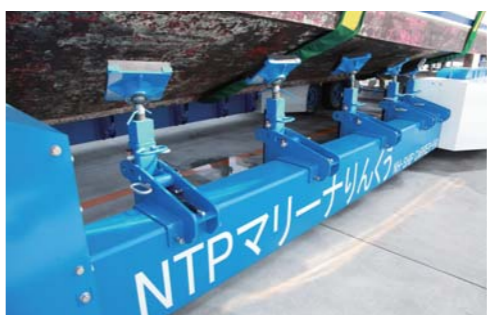
ホイストから徐々にボートを降ろしていく。この際は、両サイドの着地位置の目安を正確に把握していく。



中心に降ろす時、手動ジャッキの手前で一時停止。ここからの微調整は手動ジャッキで行うことになる。



手動ジャッキをしっかりと固定したら、搬送準備完了。キール部分は中に浮いた状態となっても安心。



内部にあるフレームの位置を確認して取付けることで、ハルを守りながらしっかりとボートを支える。



ステアリングは前後2箇所ずつ、計4箇所にて前・後独立した制御が可能で、驚く程に小回りが効く。



まずは、内部にあるフレームの位置を確認し、そこに手動ジャッキが当たるように調整していく。



手動ジャッキは横にスライド移動が可能な構造となっているので、フレームの位置までスライドさせる。



高さもハンドルを回すことで調整可能。ハルの位置まで高さを上げて、しっかりとボートを固定する。



横幅は十分に確保してあるため、大型艇を乗せても、安定感がある。また、ペラとの接触も全くない。



後方の青色のバーは外れるため、このままダイレクトに盤木やスタンドに着床させることが出来る。



着床後にシップキャリアを抜き出せば、別の大型艇の搬送も可能に。出庫は入庫の逆動作で可能だ。

今回ご紹介するのは愛知県常滑市に今年4月にオープンしたばかりのNTPマリーナりんくうさんにある『60t NH-シップキャリア』。4月にここで開催された名古屋ボートショーでも、ひと目立った存在感を發揮していたあの設備を、今回取材させて頂くことに。NTPマリーナりんくうさんは大型サイズのクルーザーやヨットにも対応すべく、日本最大級の60tクレーン(60t/20tツーウェイ方式ホイストを採用)や、70フィートクラスの船が一度に4艇入るサービスセンターを完備している。そのため、大型艇の搬送に便利なこの自走式のシップキャリアを採用しているのである。これで、オーナーから預かっているボートを安心かつ安全に搬送することが可能となっているのだ。シップキャリアは環境に優

しいクリーンディーゼルエンジンを搭載し、車輪は安心のノーパンクタイヤを全12個採用している。ステアリングに関しては前後で計4箇所を前後独立して制御することが可能になっており、大型艇が並ぶ陸上ヤードでも非常に小回りの効く走り動き回ることが出来る。そしてボートを乗せる際には手動ジャッキを船底のフレームに合わせて調整することが出来るため、大切なボートをしっかりと受け止めてくれるのだ。アメリカでもこのタイプのシップキャリアが数多く活躍している。NTPマリーナりんくうさんに登場したシップキャリアは、広範囲をきめ細やかに動く事が出来るとともに、ボートを安心・安全、そして確実に搬送する事の出来る驚きの設備であった!!



大型艇に十分対応出来るように高強度なフレームで構成されていて、耐久性も抜群に高い。



手動ジャッキは各ボートの船底に合わせて、細かく微調整出来るため、しっかりとボートに固定出来る。



タイヤカバーを設置し、足の巻き込みを防ぐ。また、オレンジの部分はクッションとなり、衝撃を和らげる。